

Cloud SMA 同期への外部 ESA

目次

[はじめに](#)

[Q. どんな接続が外部 ESA Cloud SMA へのと Cloud ESA から外部 SMA への許可されるか](#)

概要

Q. どんな接続が外部 ESA Cloud SMA へのと Cloud ESA から外部 SMA への許可されるか

A. セキュリティ ポートだけ 25 および 587 原因でデータセンターの CES アプライアンスへの受信を与られます。データセンターからの発信接続は制限されたそれ故にすべての適切なサービス ポートが割り当てられると同時にないし。

注: 外部は Cisco データセンターの何れかでホストされない appliances を示します。

SMA は ESA と SSH ポート 22 を使用して接続の確立によって同期します。これはそれ故にクラウド SMA が CES データセンターの外の ESA に同期化できることを接続が SMA から初期化されることを意味します。

SMA と ESA の間で管理される中央 集中型 サービスは次のとおりです:

1. 報告 (確立されたポート 22 接続上の SMA によって取得される)
2. メッセージ トラッキング (確立されたポート 22 接続上の SMA によって取得される)
3. スпам検疫 (ESA からポート 6025 上の SMA に送信 される)
4. ポリシー、ウイルスおよび発生検疫 (ESA からポート 7025 上の SMA に送信 される)

SSH ポート 22 接続がデータセンター内の SMA から初期化されるので、レポートおよびメッセージ トラッキング サービスはインターネットからのリターントラフィックがデータセンターに再び許可されるように機能です。

スパム検疫およびポリシー、ウイルスおよび発生検疫接続は ESA から SMA に初期化され、データセンターおよび従ってポートにこれら二つの中央 集中型 サービスにインターネットから開いていない機能でであってはなりません。

要約するために、外部 ESA が ESA はサポートされているレポートだけおよびメッセージ トラッキング サービスを用いるクラウド SMA と同期することができます。

反対は全くサポートされません。これは外部 SMA と同期するクラウド ESA です。接続は決して正常ではないことポート 22 がデータセンターにインターネットから許可されないの同期を接続を確立するために初期化されますポート 22 の SMA から再呼び出しすれば。すべての送信ポートは開いています従ってポート 6025 のスパム検疫サービスとポート 7025 のポリシー、発生およびウイルス検疫サービスのためのトラフィックはクラウド ESA から外部 SMA に送信 するこ

とができますが、最初の SSH 接続は決して確立されません従って従って機能性の他を排除します。